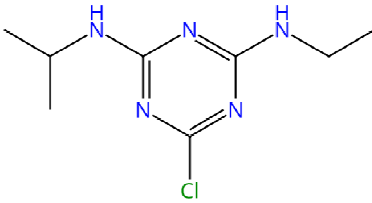


# 化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024\_1912-24-9

物質名 (CAS)	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン (別名アトラジン) (1912-24-9)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	2 mg/m <sup>3</sup>	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	215.68	構造式 	
	融点	173-177°C		
	沸点	205°C		
	密度	1.270±0.06 g/cm <sup>3</sup> (25°C、推定値)		
	飽和蒸気圧	3.85×10 <sup>-5</sup> Pa (25°C)		
	飽和蒸気圧濃度	0.00038 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	0.0017		

SciFinder®: 厚生労働省, 職場のあんぜんサイト, GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報.

## 測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
ろ過捕集方法及び固体捕集方法—ガスクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	CHLORINATED AND ORGANONITROGEN HERBICIDES (AIR SAMPLING), Method No. 5602
著者	NIOSH
資料名	NIOSH Manual of Analytical Methods (NMAM), Fourth Edition
巻, 頁 (出版年)	Issue 1, - (1998)
備考	—
捕集	
サンプラー	OVS (石英フィルター+XAD-2 (270 mg/140 mg))
捕集流量	0.2~1.0 L/min
捕集時間	—
採気量	12~480 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒: 10%メタノール/90%メチル-t-ブチルエーテル (ジアゾメタン含有) (2 mL) 操作: 振とう (60 min) 後、ケイ酸 (10 mg) を加え静置 (60 min) し、PTFEフィルター (0.45 µm) でろ過後、分析する。
分析方法	装置: ガスクロマトグラフ—電子捕獲型検出器 (GC-ECD) カラム: DB-17 (30 m x 0.25 mm, 0.25 µm)

評価		
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。
	採気量	60 L
	濃度範囲	0.04~0.4 mg/m <sup>3</sup>
	評価結果	測定範囲が濃度基準値の0.1から0.2倍の範囲をカバーしている。高濃度では試料を希釈する。
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。
	濃度	0.04~0.4 mg/m <sup>3</sup>
	抽出/脱着率又は添加回収率	110~120 %
	評価結果	○
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。
	濃度	0.04~0.4 mg/m <sup>3</sup>
	保存条件	4°C
	保存日数	30日
	保存率	70~82%
	評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の保存安定性が90%を超えるデータが示されていない。捕集後、速やかに測定すること。
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。
	濃度	0.4 mg/m <sup>3</sup>
	採気量	480 L
	破過の有無	無
	評価結果	濃度基準値の0.2倍の濃度で破過なく測定できる。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価試験は低濃度（LOQの10倍まで）で実施されている。</li> <li>・測定法が極めて特殊である。</li> </ul>	
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトラジンや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。</li> <li>・アトラジン、メタノール、ジアゾメタンは皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。</li> </ul>	

その他の測定法

—

特別民間法人 中央労働災害防止協会  
労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
令和7年3月